

科目コード	D1954	開講学期	通年	単位数	4	一般聴講	可	LA聴講	可	
授業科目名	情報活用実習									
Course Title	ICT and Computer Skill									
担当教員	大柳 陽一						責任教員	大柳 陽一		
曜限:日程	水2									
対象学年	1年	—	2年	自由選択	3年	—	4年	—	重複履修	不可

授業のねらいと到達目標

我々は、無自覚に様々な「サービス」を受けています。それらを含めて、身の周りの事象を正しく理解しつつ捉えること、得られた情報とその利用について、多角的に考えることに興味をもつこと、それが本講義の目的であり、到達目標です。キーワードは「モデリング」と「システム」です。

授業計画・春期

春／秋期を通してですが、事象の捉え方の基本として「モデリング」の手法を学びます。表面的な事象の裏側に存在する意味や意図を明らかにしたうえで、それらを再構築する道筋を知ることがこの講義の目標です。その実践として、テキストや図像を利用するためのデータベースを構築することを考えています。なお、開発環境は、ファイルメーカープロを想定しています。新聞や専門誌などから、重要な、或は不明なキーワードを抽出して講義の題材にしたり、受講者の興味を発表してもらって、そこから発展させたいと思っています。各自必ずノートを用意して下さい。春／秋期の初回の講義で、受講者と、内容／方向性を検討したいと考えています。

授業計画・秋期

身の回りにあふれる、バーコード、QRコード、RFIDタグなどの、「コード」について、それらの技術や、発展の歴史について概観します。また、通信システム（携帯端末／スマートフォン）や、インターネットにおける様々な情報処理システム、IoT、自動運転技術、ドローン（無人飛行機）などが、今後の社会にどの様な影響を与えてゆくか、また、それらを基盤としたサービスが、どの様な恩恵と問題を我々に与えるのかについて、冷静に検討したいと考えています。その上で「システム」の概念とは何かについて、或は、なぜその概念が求められるのかについて考える時間にしたいと思っています。余裕があれば（春期／秋期ともに）、情報処理システム関連の見本市を視察する演習等も行いたいと考えており、講義の中で、随時情報を示します。

評価方法

受講姿勢（講義への参加）、出席状況、演習（課題発表も含む）内容、各期末レポート（または試験）を総合的に評価します。

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

必要に応じて随時指示します。文献のコピー等を配布します。

参考文献

学生に望むこと・その他

自主的／自律的な時間とすることが大前提です。常に離散的に話題を提供するので、各自講義ノートを用意し、講義内容を纏めることを求めます。質問／相談を歓迎します。講義中やメールなどで随時受け付けます。なお、本講義は通年で受講しても、春期・秋期のどちらかのみ受講でも可能です。

履修要件